

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-525606 (P2005-525606A)

【公表日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【年通号数】公開・登録公報 2005-033

【出願番号】特願 2003-514454 (P2003-514454)

【国際特許分類】

**G 0 6 F 17/30 (2006.01)**

**G 0 6 T 1/00 (2006.01)**

**G 0 6 T 7/00 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 17/30 3 6 0 Z

G 0 6 F 17/30 1 7 0 B

G 0 6 F 17/30 2 1 0 D

G 0 6 F 17/30 3 8 0 F

G 0 6 T 1/00 2 0 0 E

G 0 6 T 7/00 3 0 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 11 日 (2005.7.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一組のデータファイルから、1 つのデータファイルを視覚化して、検索する方法であって、

対応するデータファイルを表わす複数の画像を、それぞれのデータファイル間の第 1 の距離尺度を用いて表示装置上に表示するステップと、

前記複数の画像の一部を、改善距離尺度を用いて前記表示装置上に再表示するステップと、

少なくとも 1 つの所望のデータファイルを検索するステップ、マーク付けするステップ、および、選択するステップのうちの少なくとも 1 つを実行するステップと、を含む方法。

【請求項 2】

前記所望のデータファイルが識別可能になるまで、前記再表示するステップを繰り返すステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 の距離尺度が、

各データファイルに対して、特徴ベクトルを計算するステップと、

前記特徴ベクトルに含まれる第 1 のデータ・サブセットを用いて、各データファイル間の前記第 1 の距離尺度を計算するステップと、

を含む方法によって計算される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記改善距離尺度が、

前記第 1 のサブセットよりも大きい、前記特徴ベクトルに含まれる第 2 のデータ・サブ

セットを用いて、各データファイル間の第 2 の距離尺度を計算するステップ、  
を含む方法によって計算される、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記特徴ベクトルを計算する前記ステップが、  
前記方法を開始する前に、各データファイルに対して、前記特徴ベクトルを計算するステップと、  
各データファイルに対して、前記特徴ベクトルを格納するステップと、  
各データファイルに対して、前記特徴ベクトルにアクセスするステップと、  
を含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記特徴ベクトルが、色特徴およびテクスチャ特徴のうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記特徴ベクトルが、色ヒストグラム、色モーメント、色コヒーレンス・ヒストグラム、多重解像度同時自己回帰 (MRSAR) モデル、粗さ、および、方向性のうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

前記第 1 の距離尺度が、表示のため、FastMap を用いて N 次元空間にマッピングされ、前記改善距離尺度が、再表示のため、FastMap を用いて N 次元空間にマッピングされる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記複数のデータファイル間の最大距離にわたる固定目盛を確立するステップと、  
前記画像の一部の再表示のために、前記固定目盛上に相対的位置を示し、それにより、基準フレームを前記ユーザに与えるステップと、  
をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記表示上の画像の重なり合い量を表わす表示深さ指標を与えるステップと、  
スクロールして、前記画像の重なり合いにより以前には見ることはできなかった画像を見るステップと、  
をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。